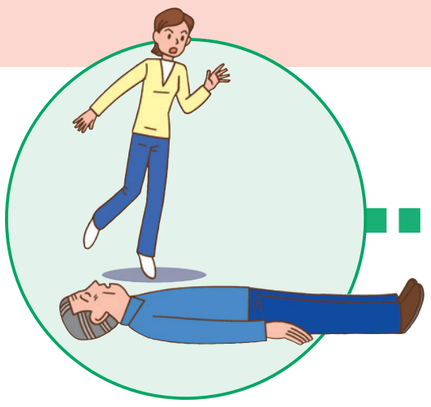
一次救命手当の流れ

日本版ガイドライン2020 対応

1 倒れている人を発見したら…。

- 周囲に危険のないことを確認し近づく。



2 反応の確認。

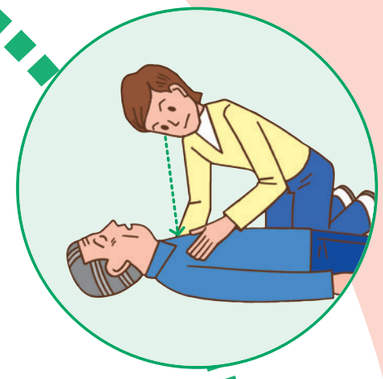
- 肩をたたいて呼びかける。

反応がない

3
- 応援を呼ぶ
- 119番通報する
- AED依頼

4 呼吸をみる。

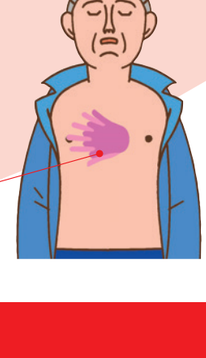
- 胸と腹部の動きを10秒以内で確認。



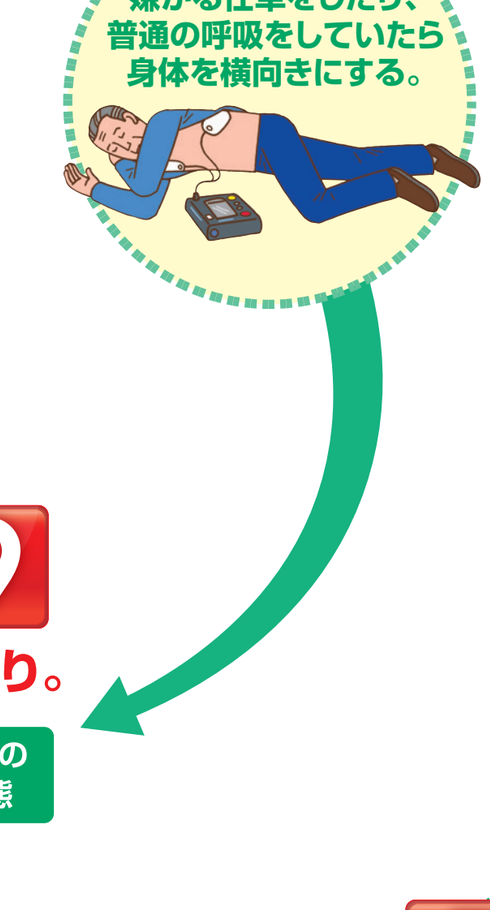
呼吸がない（おかしい）

5 通常の呼吸がなければ 胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行う。

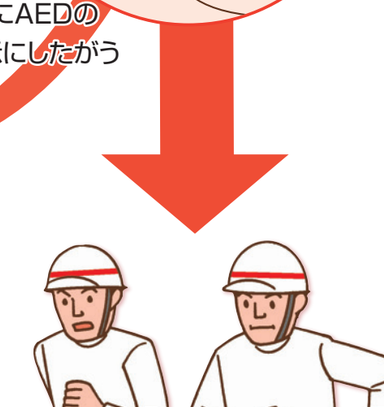
- 継続して強い圧迫ができるよう適宜交代する。
- 1分間当たりに100回～120回のテンポで、胸が約5cm沈むように圧迫する。
- （人工呼吸に自信がある場合は、胸骨圧迫:人工呼吸を30:2で実施してもよい）



●胸の真ん中に手を置く。



嫌がる仕草をしたり、普通の呼吸をしていたら身体を横向きにする。

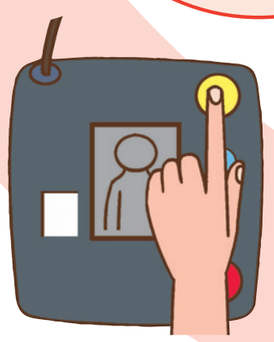


2分ごとにAEDの音声指示にしたがう

9 救急隊への行った処置の申し送り。

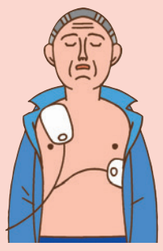
行った処置	ショック実施回数	現在の状態

AED到着



6 AEDの電源を入れ、電極パッドを貼る。

- 胸骨圧迫は電極パッドを貼り終わるまで可能な限り続ける。



7 ショックボタンを押す。

- 倒れている人に誰も触れていないことを確認する。

8 胸骨圧迫を行う。

- AED使用後は直ちに胸骨圧迫を再開する。
- 電源は入れたまま、パッドも貼ったままで胸骨圧迫を続ける。

監修
公益財団法人　日本AED財団　理事長　三田村 秀雄

AED Automated External Defibrillator

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケーターや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。

医療機器専門メーカー
フクダ電子

P1P1006PT Pos.No.191551 F